

## 栄養学教育における情報教育ガイドライン

(私立大学情報教育協会 2010年度)

### ■到達目標 1

I C Tを利用して、栄養・食生活と健康・疾病に関する情報を収集・蓄積・分析に活用できる。

- ①栄養・食生活と健康・疾病に関する情報の所在、構成、背景を知っている。
- ②インターネットを用いて、栄養・食生活と健康・疾病に関する適正な情報を検索し、選別できる。
- ③選別した情報をデータ化して、統計・解析ができる。
- ④多様な I C Tを用いて、情報倫理に配慮した効果的なプレゼンテーションができる。

### 【教育内容・教育方法】

- ①と②は、情報検索を実施し、関連するW e bサイトに接続させ、情報の収集および蓄積方法の演習を行う。
- ③は、問題解決のための情報を表計算ソフトなどを用いてデータ化したものを統計処理し、その結果の妥当性を評価・判定する演習を行う。
- ④は、プレゼンテーションツールを用いて、引用や剽窃などに留意して、実習を行う。

### ■到達目標 2

栄養マネジメントに必要な専門的な情報活用ができる。

- ①アセスメントに必要な基本情報を知っている。
- ②基本情報をデータ化できる。
- ③汎用アプリケーションソフトを用いて解析・評価できる。
- ④栄養アプリケーションソフトを用いて、ケアプランを作成できる。
- ⑤対象特性別アセスメント・ケアプラン情報を発信できる。
- ⑥結果のモニタリング、評価、フィードバックに I C Tを活用することができる。

### 【教育内容・教育方法】

- ①～③は、栄養データを用いて、汎用アプリケーションソフトを活用できる技術を修得する演習を行う。
- ④は、栄養アプリケーションソフトを用いて、各種事例に対するケアプラン作成を体験させる。
- ⑤と⑥は、栄養マネジメント(栄養アセスメント、ケアプラン、モニタリング、評価、フィードバック等)に関する問題解決型学習法を用いた演習を行う。

### ■到達目標 3

I C Tを活用して、地球レベルでの「食」をテーマとした交流を行うことができる。

- ①日本および世界の食文化等について適正な情報を収集・加工・発信することができる。
- ②海外研修や国際会議等に参加し、インターネットなどを通じて継続的な情報交換ができる姿勢を身につける。

### 【教育内容・教育方法】

- ①は、インターネット(メール・ブログ・掲示板・ホームページ等)による情報交換に必要な技術や食文化等のデジタル情報を作成する演習を行う。
- ②は、食文化等の交流に関するプレゼンテーションを行い、成果を評価するための体験学習を行う。

## ■アンケート調査と統計処理

様々な調査やアンケートの結果を分析することで、いろいろなことが見えてくる

### ◆例1 本学教職員へのアンケート調査（2009年実施）

#### 食生活に関するアンケート

(質問例)

- ・食事時間は規則正しいか
- ・一日三食、食事を取るか
- ・コンビニ弁当をよく食べるか
- ・ファーストフードをよく食べるか
- ・早食い／大食いであるか
- ：

+

#### 健康状態に関するアンケート

(質問例)

- ・1年前に比べて健康状態はどうか
- ・過去1ヶ月間の活動状態はどうか
- ・過去1ヶ月間の心理状態はどうか
- ・疲れを感じるものがどれくらいあるか
- ・気分が落ち込むものがどれくらいあるか
- ：

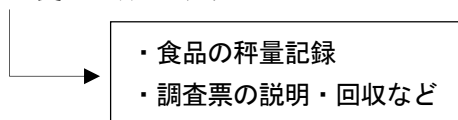
調査の結果、次のような結論が得られた。

- 手作りの食事よりもコンビニ弁当が多いと健康度が低い
- 規則正しい食事をしている人は健康度が高い
- きちんと三食取らない人、早食い・大食いの人は健康度が低い
- 早食い・大食いのデータとBMI（肥満度）との相関が高い

以上の結果から食習慣と健康度の関係が見えてくる（予想されることが裏付けられる）

### ◆例2 「国民健康・栄養調査」厚生労働省が毎年実施する大規模な調査

- ・平成22年調査 全国から無作為抽出した3684世帯、7182人の調査
- ・調査項目→ 食生活調査・栄養摂取状況、運動の状況、たばこ、飲酒、睡眠の状況など
- ・調査員 → 医師・管理栄養士・保健師等



### ◆統計学の役割

全員のデータを集めることが困難な場合（日本人全体・文教生全体など）

標本を取って全体を推定する → **統計学の重要な役割**

## ■本日の課題

「残食理由を考える」

病院・企業・学校などの給食で、残食が出た場合に考えられる原因を書き出さない。  
 「提供者側の問題」「喫食者側の問題」の両方が考えられるので、それぞれを箇条書きにすること。  
 自由な発想で、なるべくたくさん原因を挙げる。 (提出はWordファイル)

◇提出するファイル bxn11xxx 氏名 残食理由を考える

完成したら「CoursePower (eラーニング)」で提出すること